

特定非営利活動法人

さわやか北摂つうしん

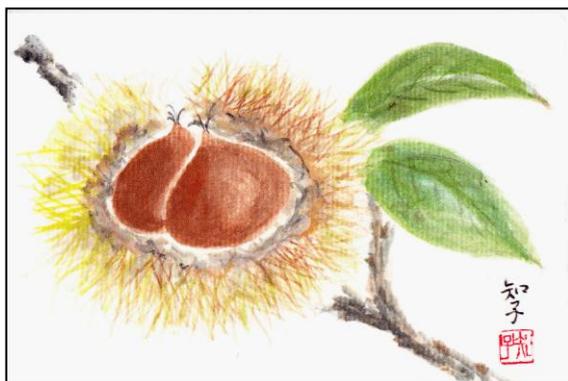
編集発行:さわやか北摂広報部 川西市緑台 3-3-39 TEL 072-792-3532

深刻な人手不足

社会保障費の増加を抑えるため、政府は高齢者の住まいや暮らしを、施設より在宅に重きを置くようになった。特養入所は原則要介護3以上となり、食費や居住費の補助を受けられる対象者はぐっと減らされたため、特養入所は一段と厳しくなったと思わざるを得ない。その影響が出ているのか、訪問介護の新規利用者やたすけあいの入会希望者があとを絶たず、事業としてはありがたいことであるが、それに対してヘルパーや活動者が圧倒的に不足しているのが現状だ。介護人材不足の問題は今に始まったことではないが、介護報酬が下げられ、介護の仕事はきつい上に給料が安いという認識が社会に広まったためか、若い人がますます減っているように感じる。先日特養勤務の知り合いから、ベッドは空いているのに、職員が足りないため利用者を受け入れられない状況だと聞いた。施設の中には人員配置さえ満たせば人を選んではおられずに、介護の質を保つことができない所もあるようだ。

さわやか北摂では幸い年配の登録ヘルパーさんが多くおられ、この暑い夏でも汗だくになりながら活躍して下さったが、常時募集しているにも関わらず新しいヘルパーさんがなかなか増えない。また、若くて体力のあるヘルパーさんの中には配偶者控除の問題があって、働く時間をセーブせざるを得ない人もいる。政府は一億総活躍と謳いながらも、その成果は身近には全く感じられない。夫婦控除という案や介護職員処遇改善金の上乗せという案も出ているようだが、すぐには実現しないし、果たして成果が上がるのかどうか今後の動向を見守りたい。

川西市でも介護予防・日常生活支援総合事業が29年度から正式にスタートするが、そのためには自治会役員や地域のボランティア等の力が必要になってくる。社会保障費抑制のためには欠かすことが出来ない介護予防事業は、今後益々重要になってくるだろう。さわやか北摂としても市の動向を見据えた上で準備を進めていきたいと思っている。



福武 知子画

住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けられるように、困った時はお互い様の精神でお手伝いをさせていただくことは、さわやか北摂設立当初からの理念であり、今後も変わらない。そのため十分な人材を確保することの難しさに頭を悩ませ続けている。

(代表理事 野村 貴美子)

第一回運営推進会議を開催しました

地域密着型デイサービスには半年に一回運営推進会議を開催することが義務付けられています。さわやかデイサービス水明台では、さる9月21日に第一回目を開催しました。この会議は地域の方へ活動状況を報告したり、意見を頂いたりしながら地域との交流を深め、より良いサービスへと繋げられることを目的としています。会議構成員は地域住民の代表者、地域包括支援センターの職員または市の職員、地域密着型通所介護について知見を有する者、ご利用者やご利用者の家族、となっており、それぞれの構成区分から最低1人以上を選任することになっています。

さわやかデイサービスでは各構成区分から2人を基準に出席のご依頼をしました。今回は第一回ということもあり、まずはさわやかデイサービス水明台がどういうところかを知っていただく、ということに重点を置き、デイサービスの一日の流れを追いながら利用者さんの笑顔いっぱいの表情や、イベントの様子など、大画面のテレビに写真を映し出し、皆さんに見ていただきました。出席して下さったご家族からは「家では見たこともない楽しそうな顔をしていてびっくりした」「普段見ることが出来ない一日の過ごし方を知ることが出来て有意義だった」などのお声をいただきました。一方で「男性利用者が少ないのはなぜか？男性を増やすための工夫は？」「認知症のために特別な配慮が必要な人の割合は？」などの質問も寄せていただき、デイの職員から答えさせていただきましたが、出席者全員の方々からご提案やご助言をいただき、話を展開させていく必要があったと反省しています。今回の会議では一定のご理解はいただけたかと思いますが、司会進行や詳しい資料の準備等、不慣れで反省すべきところも多々あり、次回に繋げていきたいと思っています。(野村 貴美子)

出席者（敬称略）

緑台地域包括支援センター	米澤 敦晴
成年後見センター川西理事長	岡 康栄
スミスケアプランセンター	中西由美子
ホサナケアプランセンター	原田美代子
利用者ご家族	梶原 幸一
利用者ご家族	本岡恵里子

◇ さわやかデイサービスの特徴 ◇

- ① おいしい昼食弁当
さわやかな畑で採れる野菜と無農薬有機栽培の応援野菜をふんだんに使った、数々のお料理が大好評です。
- ② 自家野菜の下処理
利用者さん自ら葉をちぎったり、皮をむいたり、種を取ったり、昔とった杵柄を発揮してもらっています。
- ③ 介護度認定者（介護1～5）の方は無料でプロのマッサージが受けられます。
利用者さまの体験談： ●肩の痛みが取れた。
●足の腫れが引いたり、手足のしびれが楽になった。
●腰の痛みがとれたり、曲がっていた背中が伸びた。
●頭の不快感がとれて、夜眠りやすくなった。

まだまだあります！



この人にインタビュー

川西市医師会会長 藤末 洋 医師に聞く



＜「地域包括ケアシステム」に関してご質問しました。＞

Q そもそも地域包括ケアシステムとはどのようなものでしょうか？

A 団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、住み慣れた地域で生涯を終えることが出来るようサポートするシステム。地域の実情に応じて、医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供されるよう地域ごとに考えて行くものです。

Q 川西市の医師会として現在どのようなことに取組んでいらっしゃいますか？又は取組まれる予定でしょうか？

A ●「みんなで考えよう 医療・介護」というサブタイトルで市民医療フォーラムを毎年催し、今年で14回目です。

- 地域ケア協議会を立ち上げ、医療、介護、行政から16団体が参加し、月に1回行っています。これまで在宅医療廃棄物の問題や医療・介護連携パス「つながりノート」など話し合ってきました。いざ災害が起こった時の支援といったことを考えても日頃から顔の見える関係である事が大事だと思い協議を始めました。災害時に誰がどう支援するのかコーディネーター（川西市で2～3人）の役割も重要です。

- 「在宅医療介護支援センター」を来年4月の開設に向けて動いています。一般の方へはかかりつけ医を見つけるお手伝いをしたり、専門職の方からの相談にも応じて行こうと思っています。

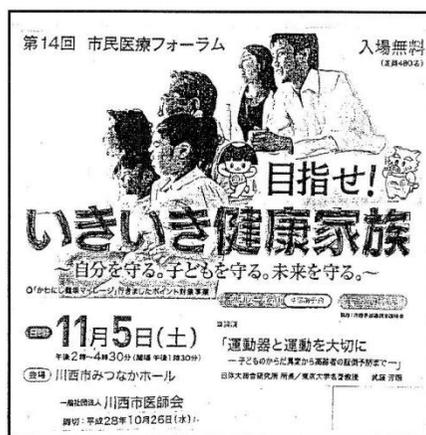
Q 医療や介護関係者はもとより、地域の方をも巻き込んでの支援体制になってくると思いますが、多職種での連携で大切なことや、問題点等についてもお伺い出来れば有難いです。

A 多職種連携で大切な事は同じ目線に立ち、わかる言葉で話すことです。気軽に話が出来る雰囲気を作っていきたいです。

どの業種も人材不足という問題はあります。川西の医師数は170人ぐらいで阪神北圏域では最も少ないです。高度急性期病院もない。介護職や自治会役員等のなり手も少ない。その限られた人材をいかに有効に生かしていくかです。

長年兵庫県医師会の要職も勤められ、現在は川西市医師会会長でもいらっしゃって大変お忙しい中、ご無理をお願いし質問にお答えいただきました。予定時間を大幅に過ぎて熱心にお答えいただき恐縮致しました。地域のためにご尽力されているお姿やそのお人柄に強く感銘を受けました。

(野村 記)



居場所・あれこれ



さわやか北摂の歌「さわやかさん」を作曲して下さった福田睦先生と、生徒さんによるオカリナ演奏会。珍しい鼻笛のお披露目には、皆さん目をハチクリ。



外国にも行かれるフローラアンサンブルの格調高い合唱に、うっとりしたり、びっくりしたり。川西の音楽家の勢揃いで豪華なコンサートでした。



ハンドチャイムグループ“のばら”の皆さんによる演奏会。珍しい楽器を初めて見て、優しい音色に癒されました。先生に促されて振って見たら、アッ音が出た！大喜びの皆さん。



混声合唱団 ヴェルデリーガ
男性2部・女性2部の4パートによる見事なハーモニーで色々な日本の曲を歌って下さいました。天から降ってくるようなお声で森本先生の独唱が始まると、会場がシーンとなり、拍手も忘れる程の感動で、素晴らしい合唱でした。ブラボーの声しきり。



ラブリーフラ・ラウレアの皆さんによる優雅なフラのあと、会場の皆さんも“さぁ、一緒に踊りましょう”と男性も入ってアロハオエ〜♪と歌ったり踊ったり。レイもお似合いでした。



毎月2回歌声喫茶のようなノリで楽しんでいます。お腹から声を出し、体操で身体を動かす、笑顔いっぱいの介護予防です。時には昔話に花が咲いたり・脱線もまた楽し!!

さわやかデイサービス ♪15年目の記念コンサート♪

さわやかデイサービスは8月から15年目を迎えました。毎年8月は記念コンサートを開いていますが、今年はプロ演奏の亀工房さんをお迎えしました。

◆ 亀工房 初の三重奏 ◆

オリジナル曲の他、禁じられた遊びのギターソロ、ハンマーダルシマーによるバッハのクラシックソロ。

夏休みなので、娘さんも太鼓・カフオンで参加。アフリカが発祥といわれる四角い太鼓をリズムカルに叩いてハーモニーが広がりました。おなじみのコーヒールンバやアイルランド民謡、沖縄民謡など多彩な演奏に会場いっぱいの人々は酔いしれたひと時でした。



★ デイサービスの記録 ★



そば打ち実演。毎年恒例の岡田理事によるそば打ちの実演があり、目の前で出来あがるのを見て、みんなびっくり！細かく切られたそばを、すぐ茹でておやつにいただきました。ナンとおいしいブロの味！大拍手でした。来年もおねがいしま～す。



きれいなヒマワリがいっぱい。数々のクラフト作品の1つです。あちらこちらに作品がいっぱいで～す。



お馴染のさわやかデイ夏祭り。ハッピー姿でよさこい踊りもやりました！

各種ご支援に感謝申し上げます

馬淵英男様 熊田孝子様 藤原 桂様
 佐野隆二郎様 中島賢治様 岡崎信一様
 藤原 昌様 樋口安子様 花岡緋芙美様
 西田紘子様 田村龍司様 守屋栄子様
 岡田八郎様 中谷雄吉様 川口千香子様

心肺蘇生法とAED使用手順 <ヘルパー定例会から>

8月23日に川西消防署・多田出張所より救急救命士 塩見氏をお招きし『川西まちづくり出前講座 皆で受けよう救急講習』として ①心肺蘇生法 ②AED使用手順の実技講習を受けました。塩見氏の模範実技の後、出席者全員が手順に従って実践しました。

ほとんどのヘルパーは講習経験者ですが、緊張して、無言で行っている様子に、塩見氏から思わずみんなで、数を数えながらやりましょうと声がかかりました。

胸骨圧迫30回、人工呼吸2回の動作を1～2分繰り返すと、どのヘルパーも息があがっていました。手伝ってくれる人がいる場合は交代できますが、一人でやり続けるのは、限界があるように思いました。

引き続きAED使用手順を教わりました。最近は街のあちこちで見かけるようになり、速やかな応急手当で、救急隊に引き継ぐことにより、傷病者の救命率が向上します。

速やかな応急手当→救急隊の応急処置と搬送→医療機関での処置、これらの連携が不可欠です。緊急時が無い事を祈りますが、遭遇した場合には、習得した技術・知識で適切な対応が取れるよう心がけたいものです。
(サービス提供責任者 美濃 由美子)



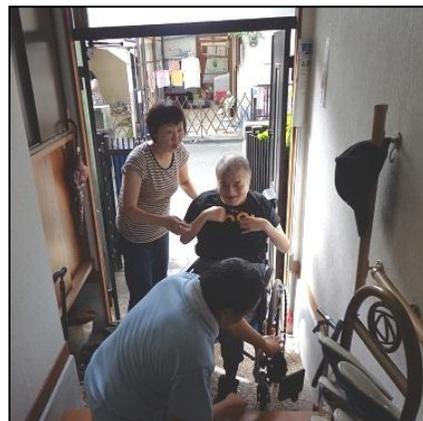
介護の現場から

障がい福祉サービス日誌

♡ Hさん親子とのつながり8年 ♡

Hさん親子と出会ってもうすぐ8年になる。長男さんは全介助が必要な重度の脳性まひの方でお母さんは要介護1。かなりの援助が必要と思われたが、なかなか心を開いていただけず、サービスを受け入れていただけなかった。そのため初めの数年間は週1回の家事援助のみであったが、次男さんが腰を痛められたことがきっかけとなり、入浴介助を開始。ヘルパーの訪問は週2回、週3回と徐々に増えていった。そうしているうちにご家族の皆さんから信頼を得て行き、今では毎日複数回ヘルパーが訪問させていただき、援助内容も生活全般に渡るようになった。お母さんからも「ヘルパーさんが来てくれると安心する」「さわやかさんのおかげでお兄ちゃんと2人でも生活できる」との言葉をいただくようになった。誠意を持って根気よく関わらせていただいた結果だと思っている。障害があっても高齢になっても、地域の中で暮らし続けたいとのご希望に沿って、支援を続けていけるよう、これからも研鑽していきたい。

(サービス提供責任者 山内 照子)



熊本支援金のご報告 No2

4月の熊本大地震を受けて、私達 NPO 法人は、どのような支援が出来るかと考えた末、東日本大震災時の様に取り敢えず出来る事から始めようと、支援金集めに取り組みました。結果として、5月に10万円を、8月に10万円と必要物資大2箱を、9月に10万円を、日本財団を通じて送らせて頂きました。

小さなNPO 団体ですから、支援金を集めるのも工夫と努力しかありません。春は花の苗や野菜苗を事務所の前に並べて道行く人々に協力を呼びかけました。夏には無農薬有機栽培野菜の袋を並べ、ヘルパーさんやスタッフに声かけ。夏祭りには無農薬野菜作りの応援団からドン！と夏野菜をいただき、完売しました。居場所で行うコンサート等イベント時にも多くの方からご支援いただきました。居場所でもチャリティーバザーを続けています。中でも一番の集金力は、市内で不用品交換のオークション制度で必要品を買い上げていただくことでした。

10万円ずつお送りする度に、日本財団の笹川会長様よりご丁寧なお礼状を賜わり恐縮しております。引き続きご協力の程よろしく申し上げます。

(久恒)



事務所の前に並べた花の苗や野菜の苗
道行く人々に協力を呼びかけました



夏祭り会場の無農薬野菜の販売風景

善意のお振込先

郵便局 口座番号 01130-6-67471
通信欄 さわやか北摂寄付金
熊本支援金 など



熊本地震 支援金への御礼

謹啓 この度は、当財団の支援活動に対しご寄付を賜り、心より御礼申し上げます。いただいた支援金(100,000円)は、被災地のニーズに即した活動を行う NPO やボランティアの活動資金に、全額大切に活用させていただきます。本支援金による支援先、支援金額、活動報告は、東日本大震災の時と同様、透明性をもって当財団ホームページ・Facebook 等にてご報告することをお約束いたします。この度のご厚意に対しまして、重ねて衷心より感謝申し上げます。 謹白

責任をもち大切に
活用します

平成 28 年 8 月 吉日

日本財団 会長

笹川陽平

日本財団から届いたお礼状



居場所のチャリティーバザー

活動実績

	たすけあい活動 (件)	訪問介護 (件)	障がい者支援 (件)	水明台デイ (延べ人数)
H28. 6月	1,169	1,038	432	409
7月	1,046	999	440	381
8月	1,036	1,042	466	377

今後の長寿社会の在り方は？

さわやか北摂は市民のたすけあいの必要性を感じて活動を始め、22年目を迎えた。山あり谷ありの21年間であったが、今、世の中は国を挙げて自助、互助、共助が叫ばれている。活動を振り返ってみても、男性の社会参加の少なさをいつも感じてきた。定年退職後、趣味や健康維持、旅行などが先ず優先され、その後は家でテレビ番や図書館通いなどとなる。何とモッタナイことか！

新聞報道によると、総合事業を既に始めている自治体は2割削減の収入の為、要支援のデイは7割の事業所が中止し、訪問介護も5割が手を引いた、とのこと。30年度からは介護1、2も含め減額されるかもしれないとの噂もある。大小の事業所が手を引くと、街中にあふれる認知症の人を含む多くの人々をどうするつもりだろうか。来年4月からは、地域支援事業が川西市で正式に発足する。地域の自治会やコミュニティが活躍の中心の場と考えられているが、地域の仕事は増える一方である。中心は介護予防であるが、住民が担う現場の悩みはつきない。責任をもって有償の助けあいサービスを続けてきた当法人も、助けて！の人は毎日のように増えている。我々もやれることしかできないが、多くの参加者増を願うのみである。
(久恒 千里)

募集！

- ★ デイサービス・ドライバー
8:30～9:30
16:30～17:30
有償 週1回から可
- ★ デイサービス調理員
午前中、週2～3回
- ★ 男女訪問ヘルパー
週1回、1時間から可
- ★ たすけあい活動者 男女
有償 週1回、1時間から可
- ★ デイサービス・パート介護員
週1～2回から可

たすけあい活動にご協力を！！

- 定年退職後に何か・・・とお考えの方、一度ちょっとお立ちより下さいませんか（男女）
- 得意なことを優先して、週に1時間でも
 - お手伝いする度によろこばれます
 - 有償サービスです

年末年始のお知らせ

12月31日から1月3日迄事務所とデイサービスはお休みさせていただきます

さわやか北摂のホームページ (URL) <http://sawayakasan.sakura.ne.jp/>